

第 20 回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）午前 10 時 00 分～

場所：中井町役場 3 階 3 A 会議室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 中井町オンデマンドバス実証実験の登録状況と利用状況について（資料 1）
 - (2) オンデマンドバス利用に関するアンケート追跡調査の結果について（資料 2）
 - (3) オンデマンドバスの運行見直し（案）等について **一部承認事項**（資料 3）
- 4 その他
- 5 閉会

【協議事項の議事】

- 3 協議事項
 - (1) 中井町オンデマンドバス実証実験の登録状況と利用状況について（資料 1）

（事務局より（資料 1）中井町オンデマンドバス実証実験の登録状況と利用状況について説明）

会 長：おさらいすると、予約件数、乗車人数については概ね安定した傾向にあるが、これはどちらかという、もう受け入れることができない状態で、不調等もある中で、2 台で運行するような状況だと 1 日 40 人前後がもうぎりぎりである。朝夕の小・中学生を除くと、おそらく 30 件弱が受け付けることができる最大だろうと思う。お気づきのところがあれば、(2) (3) の議事で関連することもあるかと思うので、その時にまたご発言いただきたい。

- (2) オンデマンドバス利用に関するアンケート追跡調査の結果について（資料 2）

（事務局より（資料 2）中井町オンデマンドバス利用に関する追跡調査アンケート集計結果について説明）

会 長：ご発言いかがか。

委 員：データを見ると休日のニーズが非常に多いが、そのような意見に対して、利用を促進するような動きがとれないのは、経費的な部分なのか。土日運行は、どうしてできないのか。

事務局：オンデマンドバスの運行開始当初は土日の運行をしていたが、平日に比べて非常

に乗車人数が少ない状況にあった。また、電話予約を土日も受け付けることを実験的に行い、どれだけ利用があるか検証を行ったが、実際に土日で予約を受け付ける状態になっても利用は少なく、土日を取りやめたという経緯がある。

委員：通勤とか通学、買い物なのか、どのような感じなのか。

事務局：家族で住んでいる方が多いと思われるが、平日、仕事で出ている家族が、土日は休みであったりして、家族の送迎などが可能なためオンデマンドバスの利用が少ないのではと推測される。

会長：自由記述には、色々なことを書いていただいているが、小学生のおそらく親御さんであろうあたりのご意見は、確かに受け止めていかないといけない、というように読んでいて思った。他いかがか。

委員：土日の状況について、事務局が言われたのはスタートした当初であって、利用状況の1日あたり平均利用者状況のデータを見るとスタート時点は非常に少ない。つまり、バスの周知によって利用の状況は違うかと思うが。意識の変化の中での土日の把握の仕方の話で、スタート当初の状況と果たして同じなのかという疑問を持っている。

事務局：以前は土日運行していたが、利用が少ないということで先ほど回答させていただいた。当初は乗車数が少なかった、認知度が少なかったという中での可能性もあるのではないかというご指摘だが、その後の状況等について十分な把握ができておらず、明確な回答はできない。

委員：最初は全体的にオンデマンドバスそのものの周知ができてなかった。しかし、とりわけ土日はほとんど利用がなかった。

事務局：はい。1日1人といった状況であった。

委員：やはり土日は、事務局が言ったようにニーズは少ないのかなと思う。

委員：私は境地区だが、このアンケートに答えられた人の記述を見たら、やけに境地区の土日運行への希望が多いと感じたので、認識としてどうなのかなと思った。

委員：運行時間も、以前は19時以降も運行していた。それも辞めたのですよね。

会長：アンケートをやると、それなりに利用できている部分については、あまり意見は出ず、あればいいなという部分について、たくさん出てくるので、それを全部受け止めてやると、ふたを開けたら違う結果ということになる。それは、書かれた方にすれば当然なことなので、受け止める側でどう解釈するかというところかと思う。他、いかがか。

委員：2台の運行で待機している時間はどれくらいか。稼働率等のデータはあるのか。

事務局：稼働率のデータ自体はない。先ほどの説明のとおり、利用が増えないのは利用者がいないというわけではなく、物理的に営業時間内に運行ができる予約数がこれ以上入りにくい状況にあるためなので、実際に待機している状況はあまり無いかと思う。停まっているときは、運転手の休憩等のケースと思われる。

会長：前の予約と次の予約の間が15分空くとする。それぞれ15分で1件を受けること

ができるかという、少し難しいところをお断りせざるを得ない。効率的に上手に詰めていけば入るかもしれないが、そうやって予約を受け付けることはなかなかできないので、実質的には今はほとんどフル稼働かと思う。数字上例えば、お客さんを乗せている時間と労働時間で割ると 20～30%くらいではないかと思う。50%という感じではないと思う。他、いかがか。

会 長：本当にオンデマンドバスが無いともう移動ができず困っているような方々の意見というよりは、かなり広く色々な方、あれば便利という方も含め、全部合わさったグラフである。出てきた意見をそのまま全部受け止めると大変なことになるので、お断りするところと、残していかなければいけないところとを上手く判断していけないといけない。次の（3）の話かと思う。

会 長：前払券の発行について、有償でも利用したいという方は 81 名中 10 名で、本当に使いたいという方はそれぐらいの方なのかと思う。そういうデータという風に見て良いのかなという気がした。アンケートそのものについてはよろしいか。

－意見なし－

(3) オンデマンドバスの運行見直し（案）等について 一部承認事項（資料 3）
（事務局より（資料 3）オンデマンドバスの運行見直し方針（案）について説明）

1. 乗降ポイントの追加・廃止について

会 長：乗降ポイントの追加については、基本的に可能であれば要望は是非という様に一般には思うが、理由として適さないということなので、これは難しいとのこと。変更についても概ねやむを得ないような理由で提示をいただいている。いかがか。

会 長：これは 1 ヶ月ちょっとで周知をして実施されることになるが、その件に関しても、発言よろしいか。

会 長：特に発言がないので、変更廃止については、ご了承いただくということでよろしいか。事務局へ以後手続きと、利用者への周知をお願いする。

－意見なし－

<承認>

2. 運行体制の見直し方針について、及び 3. 今後の運行に対する検討

会 長：来年度の前半くらいで変更したいというところの案と、それ以降 30 年度の話とで、話が分けられるかと思うが、特に順は関係なく自由にご意見ご発言をいただければと思う。いかがか。

委 員：具体的な案がなく申し訳ないが、来年度 1 年間オンデマンドバスを運用するにあたって、もし、その次の再来年度に新しい形態を導入して行こうという考えがあるのであれば、そこに繋がるような 1 年間の運行形態の変更とか、そういったものがあるといいかと思う。来年度 1 年間、目標なく単純に見直すのではなく、30

年度以降のことを考えた見直し、試行という方法で1年間何かできたらいいなと思う。

会 長：来年度の話と、その次の年度の話と繋ぎということで、何か現状で考えがあれば事務局いかがか。

事務局：近隣だと二宮町が乗り合いタクシーの事業を行っている。二宮町はエリアを設定して、そのエリア間を移動するというタクシーを実施している。フルデマンドという今のオンデマンドバスと同じように町内全域の運行という形もあるし、幹線に繋がる交通空白地域と幹線に繋がる区域間を移動する運行というのも考えられる。そういった運行も考えられることから、最初の方で見直し案として挙げたエリア設定というのが、もし機能するようであれば、今後の運行にも使えるのではないかと考えている。

委 員：新しい運用に繋がっていく一つの案と思うが。基本的に何度アンケートをやっても出る答えはいつも同じで、駅に出たいというもの。あくまでもオンデマンドバスやその他の交通手段というのは、幹線バスにいかに繋げていくかという補助的な手段で良いと自分は前から思っている。いかに幹線バスと効率よく繋げていくか。ターミナル的なところにいかに効率よくもっていけるかというのが大きな役割かと思う。

自分の家族が町外に務めており、いつも路線バスに乗るためにバス停まで家族が車で送っている。家族の送迎ができない日にオンデマンドバスの予約をしたが、もしその時間帯に他の予約が入ると他を回るため路線バスの出発に間に合うかは確約できないという返事だった。今の形態だとしようがないと思う。ただ、そのような部分が少しでも改善できれば、もう少し利用者も増えるのではと思う。効率よく運行できる方法が欲しいと思っている。1年間試行していただいて、次々年度につなげていけるのではというように思っている。

会 長：他いかがか。

委 員：エリア設定の検討(資料3P4)で、エリア間でのゾーン制料金の導入というのは、具体的にどのようなことを想定しているか。額とかを変えるのか。

事務局：ゾーン制にしてエリア間で行ける距離によって料金を変えるという想定で書かせていただいている。5エリアという形では基本的にはだいたい隣どうしのエリア設定になっているが、これをさらに細かくすると、おそらく1エリア飛び越す、2エリア飛び越すといった形も出てくるかと思う。例えば、1エリア飛び越すごとに運賃プラス100円とか、そういったゾーン制の運賃の形態も考えられる。

委 員：見直し案のエリア設定は理解できるが、実際のデータはあるか。データがあれば町内町外の現在の運行についてお示しいただきたい。

事務局：現在の運行状況は、町外エリア(長距離運行)の割合のグラフを参照いただきたい。直近1年間の総予約件数を真ん中に入れており、グラフの右側が町内間の移動、左側が町外への利用の割合を示している。全体の割合としては、町内だけの移動

が56%、町外に行く運行が44%あるという状況である。

会 長：今、5エリアの設定だと、この5エリアプラス町外（秦野側・二宮側）で7地区だが、7地区の発着でのOD表のようなものがある、それが小学生のまとまった予約とは別とわかるような形でデータがあると、利用の多いエリアがどこかというところが分かるかもしれない。町外の長距離が24%で、最近だと30%近くという話で、それが例えば、今回提示の原案では利用は不可になるということなので、予約数は純粋に減る。または、比奈窪あたりまで来ていただき、路線バスに乗って下さいということになる。もしこれを原案として次回5月の会議で決定して7月実施となると結構すぐである。これくらい予約不調が減りそうだという数値が必要と思う。

委 員：そういった、もっときめ細かい数字ができれば、より達成できるかなと思う。

会 長：全予約の24%にあたる部分の方はご遠慮くださいというのを7月1日から実施するというのが今の素案ということで、特定の方にとっては大きいと言えれば大きい。なので、この場で想定されることなどを共有できればと思うが、いかがか。

委 員：エリアの考え方について、町外のことだが、病院は別にして買い物という部分だと、前回あおばの乗降ポイントが増えたが、あおばが買い物で利用されているというデータはあるのか。将来の買い物という部分で5エリアを結びつけるのに、そのあたりの状況のデータが無ければ考えるのは難しい。

事務局：昨年9月30日に開設して、1月の終わりまで約4か月間で、ライズモール中井町を利用された予約は100件であった。

委 員：それは、町外の買い物施設の利用は減少しているのか。

事務局：資料1一番後ろが乗降ポイント別乗車人数を占めている。西友、マックスバリュが上位に来ている。前回の資料と比べればだいたい比較はできるが、これだけではわからない。何人が使っているか月別で出せれば、比較はできると思う。

委 員：エリアごとにするのであれば、そのあたりも含めて、対応していかないといけないと思う。どの方法がいいのか、その辺を含めて次年度に、エリアを状況に合うようにするならばいいのではないか。

会 長：7月ということであれば、町外を発着の方がどこから来て、どの時間帯でというのを出していただきたい。また、前回か前々回で記憶にあるが、特にマックスバリュと西友に関して、本当に買い物目的で利用しているのかというのがよく分からない。そこから路線バスに乗っている可能性というのかなりありそうという話だった。そういったことも含めて、廃止をする場合の影響もちろんかなり大きい、より優先したいような利用ではないということが上手に説明できれば、町民の方にもご納得いただけるかと思う。そうでないと数字としては非常に利用者が多い所から切っていくということについては、かなり説明がいる話だと思う。このメンバーの中では、賛成反対はともかく、理由は共有してきたと私は思っているが、利用者の方からすると、おそらくそうはいかない。そこはぜひ、数値を

積み上げていただいてということかと思う。

会 長：7月というのは早い感じはするが、あと1年ちょっとしかない中で、例えば12月に変えるという、変更した後の状況を見て、その次の年に繋げるということ、ほとんどできなくなってしまうので、なかなか難しい。早くやりたいが周知も必要で難しい所だが、それは次回ご審議をきちんといただきたいと思う。事務局は事前に資料を出していただきたいと思う。他、いかがか。

会 長：今後の方向、再来年度も含めた方向ということでいうと、また次回以降、議論をしていくが、今日時点、何かあればあご発言願う。

会 長：特に30年度以降については、まだ原案以前のものなので、次回以降で色々ベースとなる資料を出していただき、来年度7月ということで書いてある変更については、より具体的なデータに基づいて利用者に納得いただけるようなものを出していただきたいというのが出てきた意見と思う。次回会議以前に出していただくことでよろしいか。

委 員：コストも含めてお願いしたい。

会 長：需要だけでなくコストもお願いする。他、いかがか。

会 長：オンデマンドバスの運行見直し(案)については、乗降ポイントの追加・変更・廃止についてはご承認をいただき、7月想定の実行体制の見直し方針については、具体的なデータを出していただく。それから先は、次回引き続き検討ということと思う。

4 その他

事務局：特になし。

会 長：議事はすべて終わった。あとは事務局で整理いただきたい。

以上

○出席委員：

境地区バス利用対策委員長 石井 伸吉

一般公募委員 廣澤 瀧男

東洋大学国際地域学部国際地域学科教授 岡村 敏之

神奈川運輸支局運輸担当運輸企画専門官 (代理) 高橋 涉

神奈川県県土整備局都市部交通企画課 (代理) 金岡 知世

神奈川県松田警察署交通総務課 (代理) 佐々木 琢磨

(一社) 神奈川県バス協会常務理事 山崎 利通

神奈川中央交通(株)運輸計画部生活交通課 (代理) 吉野 茂

(一社) 神奈川県タクシー協会相模支部 (代理) 石田 優二

神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 小泉 孝行

中井町副町長 加藤 幸一郎
中井町地域支援課長 曾我 裕之
中井町福祉課長 山口 秀俊
中井町参事兼まち整備課長 権守 章
中井町教育課長 山本 清和
中井町老人クラブ連合会長 阿部 昭道
中井町社会福祉協議会長 早野 茂
中井町商工振興会長 金子 貴司
中井町PTA連絡協議会長 関野 政一
○オブザーバー：
秦野市都市部参事兼公共交通推進課長 保坂 富士雄
○事務局：
中井町 3名